



◇ 労働安全衛生セミナー ◇
これからの世界の労働安全衛生における課題
－ 初の安全衛生サミットを受けて －

共催：ILO駐日事務所・財団法人日本ILO協会
後援：中央労働災害防止協会

■日 時：2008年7月4日（金）14:00～17:00
■場 所：UNハウス5階エリザベス・ローズ国際会議場

プ ロ グ ラ ム

全体司会：長谷川真一 ILO駐日代表

- ◇開会 14:00
来賓挨拶
松井 一實 厚生労働省大臣官房総括審議官（国際担当）
- ◇基調講演 14:10～14:30
「世界の労働安全衛生における課題とILO」
井谷 徹 ILO本部労働者保護局局长
- ◇報告1 14:30～14:50
「世界労働安全衛生会議と安全衛生サミットについて」
町田 静治 ILO本部労働安全衛生・環境国際計画労働安全クラスター・コーディネーター
- ◇報告2 14:50～15:10
「第18回世界労働安全衛生会議に参加して」
鈴木 俊男 日本経団連国際協力センター参与（ILO理事）
- ◇報告3 15:10～15:30
「アジア・アフリカにおける労働安全衛生上の課題」
川上 剛 ILO東アジア準地域事務所労働安全衛生上級専門家
- ＝ 休 憩（10分） ＝
- ◇参加者を交えたパネル討議・質疑応答 15:40～17:00
「グローバル化と労働安全衛生における日本の役割」
パネリスト：一福澤 義行 厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課国際室長
一高橋 信雄 JFEスチール株式会社安全衛生部部长
一鈴木 宏二 国際労働財団現地支援グループリーダー
一講演・報告者 司会進行：町田 静治 ILO労働安全クラスター・コーディネーター
- ◇閉会 17:00
- ◇交流会 17:00～18:00

★第18回世界労働安全衛生会議（韓国ソウル・2008年6月29日～7月2日）★

ILOと国際社会保障協会（ISSA）が共催して3年おきに開かれる世界労働安全衛生会議は、労働安全衛生分野で世界最大のイベントとして、仕事の世界における安全の現状を取り上げ、即座に活用できる知識、戦略、実用的なアイデアの開発に向けた主要な討論の場を提供しています。韓国産業安全衛生公団（KOSHA）が受入団体となって開かれた第18回会合には、世界120カ国以上から4,500人近くの参加者があり、「仕事における安全と健康：社会の責任」のテーマの下、「予防的安全衛生文化」の育成に寄与することを目指し、情報、知識、経験の交流が図られました。開幕に先立ち、世界各地より国際的な指導者、政府閣僚、主要多国籍企業の最高経営責任者、社会保障分野の指導者、安全衛生上級専門家、労使代表などハイレベルの意思決定に携わる人々50人余りが集まって開かれた初の安全衛生サミットでは、地球規模の労働安全衛生文化の構築に向けた新たな青写真となる労働安全衛生ソウル宣言が採択されました。ILOは会議に向けて、労働安全衛生分野におけるILOの最近の取り組みと今後の論点を記した新しい報告書「Beyond deaths and injuries: The ILO's role in promoting safe and healthy jobs（死傷災害の克服：安全で健康的な仕事の促進におけるILOの役割・英語）」を発表しました。